

スマートフォン最新動向

メール端末から業務の主役に

iPhone 3G発売が火を着けたスマートフォン市場。端末数の急増により選択の幅も広がり、スマートフォンには今、かつてないほど多くのユーザーが注目している。

文 坪田弘樹(本誌)

2008年はスマートフォンが注目を集める年となった。特に後半、各通信キャリアが新製品を次々と発売。スマートフォンの認知度は大きく向上した。契機となったのは7月の「iPhone 3G」(以下iPhone)発売だ。

斬新なインターフェースとアプリケーション配信の仕組みが通信・IT業界に与えた影響は大きい。それは、iPhone発売以降の端末メーカーの新製品開発、通信キャリアの販売戦略、ITベンダーのアプリ開発を見ても明らかだ。この大きなうねりは09年、企業ネットワーク市場にとっても大きなテーマとなるだろう。

本稿では、企業におけるスマートフォン利用の動向とともに、今後の進展を展望していくこととする。

急増する選択肢

まず、スマートフォン全体の動向を



スマートフォンの認知度を高めたiPhone 3G。他メーカーの端末開発、アプリケーション開発に与えた影響は非常に大きい

おさらいしておこう。

最も顕著なのは、端末数の急激な増加だ。認知度向上とともに、実際に導入するに当たっての選択肢の幅も格段に広がった。

特にWindows Mobile搭載端末の発売ラッシュには目覚ましいものがある。08年10月から12月にかけて、HTC製の「Touch Pro」「Touch Diamond」「Dual Diamond」がNTTドコモ、ソフトバンク、イー・モバイルの3キャリアから発売。6月に発売さ

れたウィルコム製の「WILLCOM 03」と合わせると、新プラットフォームであるWindows Mobile 6.1搭載端末は一気に4キャリア7機種に広がった。KDDIからも間もなく、同社初となるスマートフォン「E30HT」が発売され(09年春発売予定)、Windows Mobileプラットフォームは国内全キャリアに拡大される(図表1)。

他のプラットフォームの端末も含めると、08年中に発売されたスマートフォンは実に14機種を数えた。

さらに、2～3月には「BlackBerry Bold」の発売も控えている。これに先立ちNTTドコモは、BlackBerry向けのインターネット接続サービスの

図表1 2008年に発売された(09年発売予定も含む)スマートフォン一覧

キャリア	OS/プラットフォーム	端末名	メーカー	発売月
NTTドコモ	Windows Mobile 6 Sta	F1100	富士通	3月
	Windows Mobile 6 Pro	HT1100	HTC	6月
	Windows Mobile 6.1 Pro	HT-01A Touch Pro	HTC	11月
	Windows Mobile 6.1 Pro	HT-02A Touch Diamond	HTC	12月
	BlackBerry	BlackBerry Bold	RIM	(09年2～3月)
KDDI(au)	Windows Mobile 6.1 Pro	E30HT	HTC	(09年春)
ソフトバンクモバイル	Windows Mobile 6 Sta	X03HT	HTC	4月
	Windows Mobile 6.1 Pro	04HT Touch Diamond	HTC	11月
	Windows Mobile 6.1 Pro	X05HT Touch Pro	HTC	12月
	SymbianOS / S60 v3.1	X02NK	ノキア	4月
	iPhone OS	iPhone 3G	Apple	7月
イー・モバイル	Windows Mobile 6 Pro	S11HT EMONSTER	HTC	3月
	Windows Mobile 6 Pro	S12HT EMONSTER lite	HTC	7月
	Windows Mobile 6.1 Pro	S21HT Touch Diamond	HTC	10月
	Windows Mobile 6.1 Sta	S22HT Dual Diamond	HTC	12月
ウィルコム	Windows Mobile 6.1 Cla	WILLCOM 03	シャープ	6月

Cla/Classic、Sta/Standard、Pro/Professional

()内は予定